

第56回 IEEJエネルギーウェビナー（速報解説）2023年6月12日



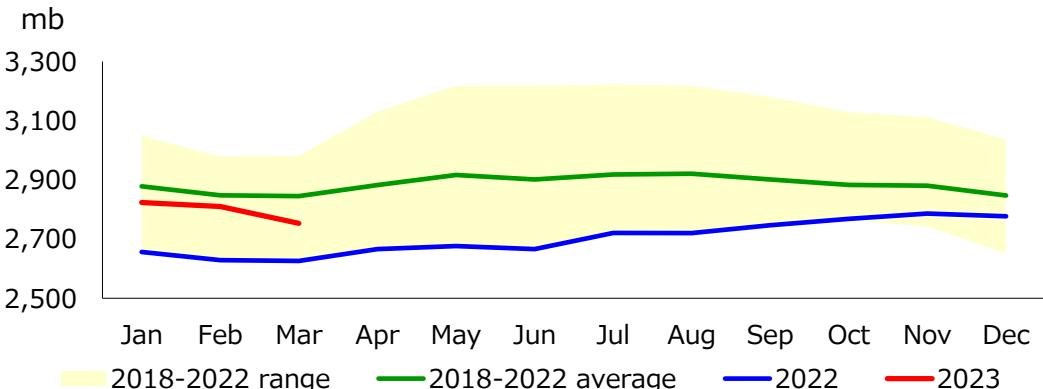
OPECプラスによる 2024年末までの減産をどう見るか

一般財団法人日本エネルギー経済研究所
化石エネルギー・国際協力ユニット 石油グループ
森川 哲男

2023年前半までの石油市場



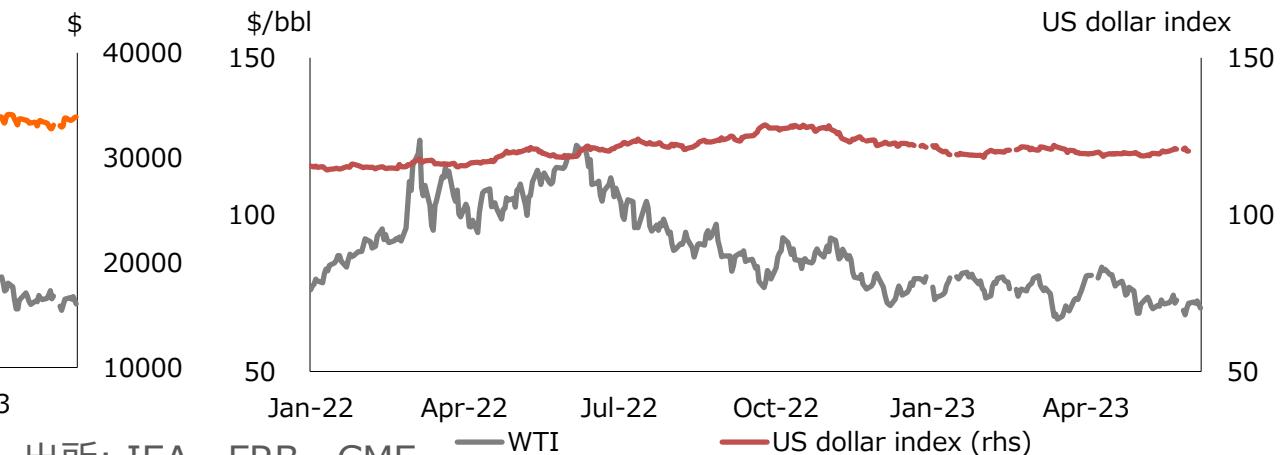
OECD商業在庫



油価・株価



油価・為替



出所: IEA、FRB、CME

- 減産が奏功し需給は徐々にタイト化も景気悪化懸念が強く価格は上昇せず。

6月4日会合と生産目標（自主減産含む）

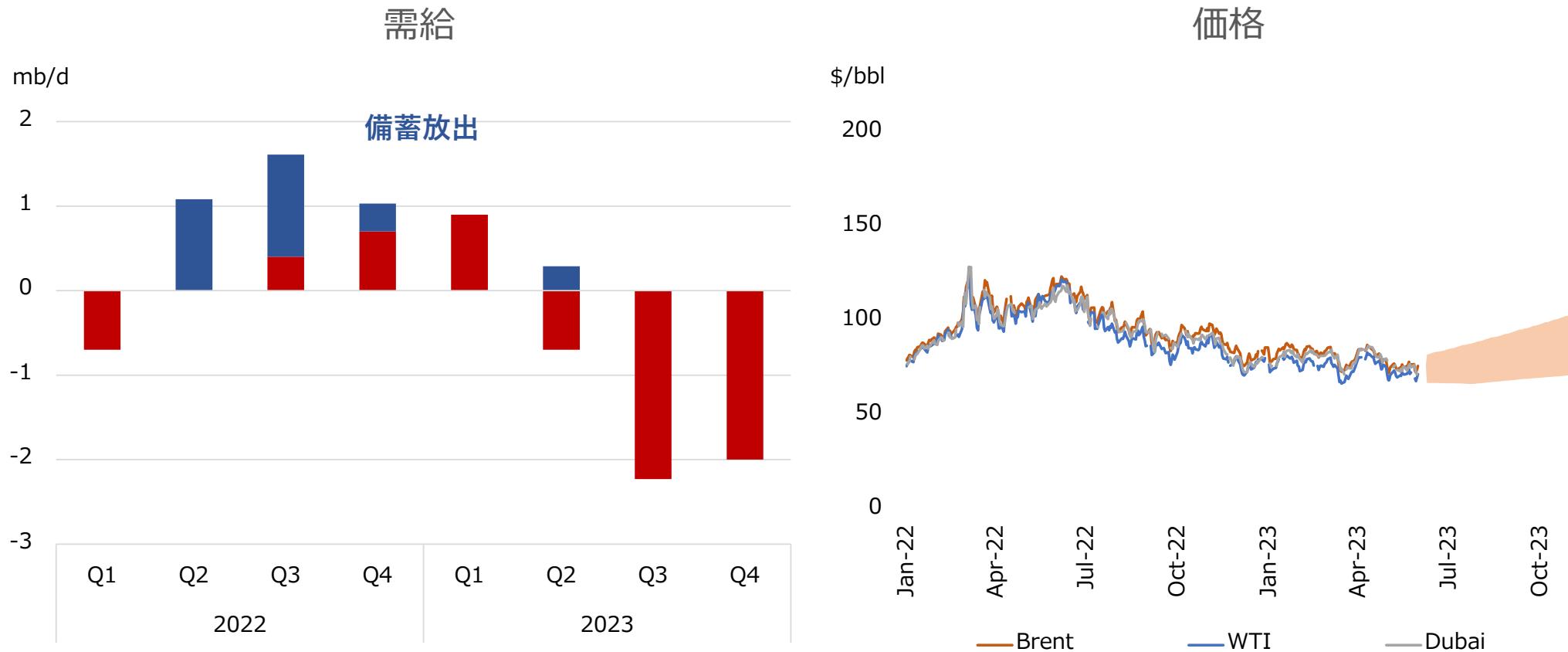
単位：1,000 b/d

	国名	生産目標			生産量実績 2023年4月
		2022年11月-2023年4月	2023年5月-12月	2024年1-12月	
2023年 自主減産国	サウジアラビア	10,478	9,978 (7月は8,978)	9,978	10,480
	UAE	3,019	2,875	3,075	3,320
	クウェート	2,676	2,548	2,548	2,680
	イラク	4,431	4,220	4,220	4,100
	オマーン	841	801	801	840
	アルジェリア	1,007	959	959	1,000
	ガボン	177	169	169	200
	ロシア	10,478	9,978	9,828	10,930
	カザフスタン	1,628	1,550	1,550	1,630
生産目標引き下げ国	アンゴラ、コンゴ、赤道ギニア、ナイジェリア、アゼルバイジャン、ブルネイ、マレーシア、スудان	5,048	5,048	4,105	3,440
その他減産参加国	メキシコ、南スーダン	1,877	1,877	1,877	1,800
減産免除国	イラン、リビア、ベネズエラ	-	-	-	4,660
	合計	41,856	40,199 (7月は39,199)	39,306	43,940

出所: OPEC、IEA

- 減産期間は自主減産も含めて2024年末まで延長。
- サウジアラビアは7月に100万b/d追加自主減産。8月以降も継続する可能性。
- 生産目標未達国は目標値を引き下げ。

2023年後半の石油需給・価格見通し



出所: IEA、CME、ICE、日本エネルギー経済研究所

- 需給バランスは2023年第2四半期から需要超過に転じる。2024年も需要超過継続か。
- 2023年後半にかけて価格上昇を見込むがマクロ経済懸念は引き続き材料視されやすい。